

農園通信 9月

8月は以上な猛暑で終わりました。最寄りの AMeDAS 観測地点「鳩山」はニュースでも高気温地としてしばしば報道されました。8月5日には国内2番目の最高気温 41.4℃を観測しました。この暑さに加えて降水が少なく 18.5 mmと平年の 9.9%、作物の生育にも大きく影響しました。



サツマイモの伸長も非常に緩慢でした。また、作物ではありませんが、園内にあるアオキは頂部の葉を枯らしました。



夏休み中ですが、9月に、今年もダイコン組の実習を始めました。残暑というには厳しい暑さの中、学生たちは実習に



取り組み、終えてから農園特製麦茶、紫蘇ジュースで喉を潤していました。播種、植付けた作物は残暑の中、順調に生育しています。



彼岸が終わっても真夏日が観測されています。隣地には彼岸花が咲き誇っています。普通に見かける赤い花ではなく、クリーム色の品種です。また、坂戸キャンパス校門脇には紅白に花をつけています。気温が高い日はまだまだありますが、日長が短くなり夕暮れはあっという間に暗くなります。朝晩はひんやりとし、農園ではモズが梢の頂部で囀り始めました。こんなところに秋を感じます。